

## 旧川内北小学校跡地における桐生みやま園施設建設に係る地元説明会 開催結果

- 1 日 時 令和7年6月13日（金）午後6時～6時55分
- 2 場 所 川内町五丁目第二集会所
- 3 出席者 川内町五丁目第二町会住民 35名  
桐生みやま園職員 3名  
実施設計施工業者（株式会社安藤設計） 3名  
桐生市職員（福祉課） 2名

### 4 内 容

#### (1) 開会

#### (2) あいさつ

##### ア 町会長

昨年度、旧川北小校舎の解体工事が終了した。現在は基本設計が終了し、実施設計の段階のように思え、今後は建物の建築に関わってくると思う。ここに図面などがあるが、皆さんも完成するまで、あるいは完成した後も、どのような形で運用されるのか、また住民にはどのような影響があるのか、心配事があるかと思う。建物の構造や中身には関与できないと思うが、いろいろな心配事はあると思う。また今後、いろいろな課題が出てくるかもしれない。そういったときは、町会を通じたであったり、また直接であったりと、みやま園に働きかけていきたいと考えているので、みやま園にも対応をお願いしたい。

##### イ みやま園長

みやま園も昭和56年に現在の場所に開設し、すでに44年目を迎えることができた。これもひとえに川内町の皆様のご理解とご協力があったからこそであり、深く敬意と感謝を申し上げます。詳細はこの後、副園長から説明させるが、みやま園のそばを流れる山田川だが、令和元年の台風19号ではかなり増水し、擁壁が13カ所、水圧によって破壊された。24時間利用している入所利用者の生命、身体を守るにはどうすればいいかということで、町会の皆様や桐生市にも相談させていただきながら、旧川北小への移転をすることとなった。取り急ぎ、入所施設の2施設を移転し、1期工事として通所施設を移転することで考えている。今日は忌憚のない意見をいただきながら、みやま園としても親切、丁寧の説明させていただきたい。

(3) 報告事項

- これまでの経緯、桐生みやま園建設工事について、みやま園副園長から説明
- 平面図及び立面図について、施工業者から説明

(4) 質疑応答

Q 駐車計画について、現在のみやま園は100人以上の職員がいると聞いている。この計画では駐車車両は50～60台となっているがどうなのか。また、マイクロバスの動線計画など、どう考えているのか。この施設の中ではUターンはできないと思う。

A 今回は入所施設2施設の移転であり、駐車台数は早番や遅番、夜勤、休みの関係もあるので、常時35、6台になると思う。また、マイクロバスについては、1期工事は入所施設なので、2期工事に通所施設を建設する際に話が出てくる。今回は入所施設なので送迎はない。ただ、入所施設利用者にも外出支援があるので、その時のマイクロバスの動線は現在の学校のイメージからすると、正門から入り、東の方から回っていくようになる。また、しごと工房みやまの方にも出入口があり、そちらの方にも動線はある。正門から入り、各寮の玄関で降車し、最終的には北側の出口から抜けられるような形で現在計画している。

Q 1期工事が完成した時点で、完全のみやま園はこちらに移るのか。それとも、2期工事が終了するまでは、現在のみやま園の方も継続するのか。

A 入所施設は旧川北小跡地に移転するが、現在のみやま園には通所施設が残る。従って、みやま園は今後、2カ所に分かれて運営することになる。

Q 9月から工事が始まり、3月で1期工事が完了することのことだが、2期工事はいつ頃から始まるのか。

A 国等の補助金を活用して建てる部分があるので、入所施設建設後すぐということではなく、数年置いてということになると思う。何年先になるかは明確には答えられない。ご承知のとおり、建築資材や人件費の高騰もある中で、ある程度自己資金も投入しなければならない。みやま園としても資金面で力を蓄えなければならないので、少し間が空くと思う。

Q 施設の周囲はフェンスで囲まれるのか。

A 施設の東側にはフェンスを設置し、奥のしごと工房みやまのあたりは生垣、または植栽になると思う。

Q 旧川北小跡地の西側に住んでいる者だが、こちらは施設よりも高い場所にあり、家から施設が丸見えになる。覗くのは嫌なので、西側もできるだけ高いフェンスにしてほしい。また、旧体育館裏にあった排水溝は、旧校舎解体の際に壊されてしまった。そのため、畑や庭に水が溢れている。一度見に来てほしい。

A 後日、見に行きたいと思う。

Q 出入口は施設内に2か所なければおかしい。この図面では1か所しかない。

A しごと工房みやま側にも出入口があるので、2か所となる。

Q 旧川北小跡地の東側の隣地に住む者だが、境界線のフェンスの高さは、現在のブロック塀の高さを維持してほしい。

A 個々に対応する。前回の旧校舎解体の時も話をしているが、しっかりとした対応をしていきたい。

Q 南側の石垣とフェンスについては改修する予定があるのか。将来的にプール跡地の活用はどのようにするのか。

A プール跡地については職員駐車場として整備する予定である。南側のフェンスと石垣は、当分そのままとなる。

Q 石垣から土が漏れてきてしまうが、対処する予定があるのか。草も生えている。

A 東側の県道から入る細い道は、道路法上の規定を満たしていないので、その部分をセットバックといって敷地の一部を削って、道路の一部にする工事を行う。その部分については石垣を壊して、段差解消の擁壁を作る予定となっている。

Q その時、擁壁と一緒にフェンスのようなものも設置する予定なのか。

A その予定である。目隠しにするかメッシュフェンスにするかどうかは今後検討することになると思う。

Q 2期工事の際も住民説明会を行う予定があるのか。

A 行う。また、1期工事建設開始前にも、建設業者も加えて住民説明会を行う予定である。

Q 南側の正門は傾斜があり、マイクロバスなどが通過すると、車両の底部を擦ってしまうだろう。覚えておいてもらいたい。

A 承知した。

Q 供用開始が令和8年度中となっているが、具体的にはいつなのか。

A 補助金を活用して行う事業であるため、あくまでも単年度で工事を完了させる必要がある。令和8年3月31日までに完成させ、4月1日から供用開始となる予定である。

Q 2期工事の時になると思うが、プールを駐車場とする予定とのことだが、あのあたりは雨水が溜まる。排水を考慮したほうがいい。また、設備の騒音や厨房の臭気などの対応はどう考えているか。問題ないという答えになると思うが。

A プール周辺の件は承知した。また、現在のみやま園も24時間稼働しているが、周囲から騒音や臭気の苦情はない。現状のみやま園が窪地にあるからかもしれないが。

Q 自家発電は設置するのか。また、太陽光発電も設置するのか。

A 設置する予定である。自家発電は80KVとする予定で、最低48時間は稼働する。太陽光発電は20kw弱。こちらは群馬県の基準に沿った形で設置する予定である。

Q 床面積はどの程度か。

A 約3,500㎡。2期工事では通所施設を建設するが、その際は木造も考えている。入所施設は利用者のプライバシーや車いす利用者のことも考え、全て個室になる予定である。

Q 防災の観点から、どの程度の住民が避難できるのか。また、交流エリアはどのようなスペースなのか。

A 当初は地域交流コーナーも補助対象であったが、今回の補助金が入所施設と短期入所にしか付かなかったため、2期工事に含めることとした。また、現在、災害発生時に、みつみね寮は川内長寿センターへ、ねもと寮はしごと工房みやまへ避難することとなっている。新施設が完成すれば、しごと工房みやまへの避難は必要なくなるため、地域住民がしごと工房みやまに避難できるようになる。

Q これまでは旧川北小の体育館や校庭で住民がスポーツをすることができた。今後はそうならないのか。

A 旧川北小跡地は現在のみやま園よりも狭く、全面積を使用しなければならない。ただ、しごと工房みやまの樹木は来月には伐採し、しごと工房みやまの園庭も整備するので、地域住民に活用していただけるのではないかと。今後検討していきたい。

Q 寮の中の中庭は何のためにあるのか。

A 中庭だが、寮の中にかかなりの数の部屋があるため、建築基準法でいう採光や排煙、

換気など、法的に必要な基準を満たすため、外周部では足りない部分があるので、それを補うために中庭を設置している。また、各居室のエアコンの室外機等は極力外周部には設置しないように考えており、中庭など内部に設置したいと考えている。

Q 1 工事の施設の部屋数は。

A ねもと寮が入所 50 室と短期入所 3 室、みつみね寮が入所 30 室と短期入所 3 室である。

Q 将来的な話であるが、南側からまっすぐ下って県道に出る際、鋭角に出ることになると思う。現在はその道路は地域住民しか利用していないが、今後みやま園が全て移転した後は、職員も送迎車両もこちらを利用することになる。この場には第 16 区長もいれば、桐生市職員もいるので、将来的に県道への出口を広くするとか、出やすい方法を考えるとかはあるのか。大型車が出る時に現状のスタイルで出る際、上から来る車は見えない。県道に対し直角になるように車を持って行って、左右を確認する。そうなった場合に、下から来る車が入れなくなってしまう。今すぐではないが、これから改善する計画があるのか。

A 道路を拡張することは約束できない。桐生警察署には感知器式の信号を設置してもらいたいと要望した。ただ、その場ではすぐに設置するという話にはならなかった。今後も警察や関係機関にも相談していきたい。感知器式の信号ができれば、職員や地域の方の事故防止ができるのかと思う。要望書という形ではなく、口頭で相談した段階である。

Q みやま園と地域、共同で要望書を出した方がいいのではないかと。区としても協力したい。

A ありがたい話である。また、県道に減速するような表示を設置してもらうような話も、関係機関に話をしていきたい。

Q 東側のブロック塀は撤去すると聞いた。そのあとはどうなるのか。

A 高さ 1.8 メートルから 2 メートルのフェンスになる予定である。

Q フェンスは防音か。

A 遮音機能はついている。

Q センサーはついているのか。

A フェンスにはついていない。見守りカメラのセンサーは設置する。

Q 2 期工事までの間、空いている場所でグラウンドゴルフなどはできないか。

A 空いている場所については、最もコストがかからない砂利敷きにしたいと考えて

いる。泥のままだとほこりが立ち、近隣の方に迷惑がかかる。現在は職員の車両台数が多く、一部の職員はみやま園のグラウンドにも駐車している。入所施設が移転すれば、その分の職員の車両台数も減るので、グラウンドに駐車しなくても済むようになると思う。そうなれば、グラウンドも地域住民の方は使用できると思う。

Q 現在のみやま園の利用者は何名か。

A 通所施設利用者が約 80 名、入所施設利用者が約 80 名である。

Q この施設が完成した時点で、今後も利用者を増やしていこうと考えているのか。

A 入所施設は現状を同じ人数を考えている。施設は定員があり、また職員数もある程度決まっているので、利用が増えることはない。また、この説明会で聞き漏らしたことがあれば、みやま園に来ていただければ、丁寧に説明したい。また、9月に建設に関する住民説明会を開催したいと考えている。

#### (5) 閉 会